

第2回 〇から始める！やさしい疾患勉強会

シリーズ化
決定！！

「慢性心不全」について学ぼう！

～研修会報告～

この研修会は、主に介護職の方が「疾患の基礎知識」「生活支援の中の観察項目」「支援時のケアの注意点」などについて学び、疾患の基礎知識を持ったうえで必要な情報共有や支援につなげることを目的として開催しました。たくさんの方に興味を持っていただき、75名(オンライン参加74名、会場参加1名)の方がご参加くださいました。

開催日時：

2021年10月27日(水)
14時～15時30分

おぐに けいこ
講師：小國 恵子 氏



主 な 内 容

- ◆心不全と介護・地域包括ケアの視点
- ◆心不全とは
- ◆症状・徴候・検査
- ◆治療（非薬物療法、薬物療法）
- ◆心不全患者さんのケア
 - ①健康チェック
 - ②悪くなった時の対処方法
 - ③確実な服薬
 - ④栄養管理
 - ⑤活動内容の調整
 - ⑥適切な入浴方法
 - ⑦排便管理
 - ⑧感染予防

★「介護職に必要な病気の知識とケアのポイント」として、今回は慢性心不全についてまとめた資料を作成しています。今後も疾患研修会の内容に沿って作成していきますので、ぜひご活用ください！！

* 参加者の皆さまからの声をご紹介します * (アンケートより一部抜粋)

□今まで大事を取って制限していた作業も少し工夫をすることで行って頂ける。好きな物を食べられることを学んだので、活用、提案をしていきたいと感じた。

□心不全がどういう疾患であり、どんな治療や症状緩和を行うのか、そこからどういう管理や介入を考えてしていけばいいのか、よく理解できた。

□医療と地域は切っても切り離せず、看護師をはじめ医療従事者としての連携の重要性・必要性を伝えていくことを改めて学ぶことが出来た。

□心不全の利用者様のケアの方法を知ること、悪化する前の予防策をケアプランに活用できると思う。

□生活の場が見える生活の中で、折り合いをつけることができるのは在宅の強み、と言って下さったことがとても印象に残った。

□適度な運動といっても、患者さんの心機能等に合わせた内容で考慮する事が予後悪化を遅らせられる等、運動強度などの知識不足を身をもって感じた。薬剤管理のみならず、薬剤を最大限に活かしながら患者さんの健康を維持するためには、地域包括ケアは改めて必要だと思った。

【次回勉強会予告】

内容は調整中です... 詳細が決まり次第ホームページに掲載します☆